

坂口 憲一郎情報

No63

(2022年4月27日配信)

NHK ラジオ深夜便 「明日へのことば」 5月4日(水) 4時台

「民話に魅せられ半世紀」

民話探訪者 小野和子

聞き手 坂口憲一郎



小野和子さんは、宮城県を中心に民話を探し求めて、50年以上。民話には、庶民の生きる喜び、自然への畏れなど、庶民の歴史が残されている。民話を知れば知るほど、まるで民話の深い森に入り込むように思えるほど、様々なことが学べるという。民話には、地域の歴史を語り伝える役目もある。

東日本大震災に関連し2011年8月には、「大地震、大津波を語り継ぐために～声なき声を聴き 形なきものの形を刻む～」というテーマで、民話を語る震災体験者の声を遺した。何代にもわたり語り継がれてきた民話は、人の息づかいとともに生きた言葉で伝えられてきた。記憶に残るお話、、、雪の残る山村で、巡り合ったおばあさんのわらべ歌を、小野さんが突然、歌いだしたのには驚きました。